

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅴ（運動器・腎臓・泌尿器系） 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	津久井亨・白鳥君利・木村亮輔	実務経験	有
<p><科目のねらい> 解剖生理で学んだ運動器系・腎臓系・泌尿器系の知識を臨床実践に結び付け統合し、特有の疾患を理解する。運動器系・腎臓系・泌尿器系の器官が人体のなかでどのような構造をなし、どのような役割を担うかを想起する。その後、その構造や機能が障害された状態（疾患）はどのような状態を示すのか学び、損なわれた機能の回復や失われた機能を補てんするにはどうすればよいか、治療や援助につなげる根拠を知る。</p> <p><到達目標> ・運動器系・腎臓系・泌尿器系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 運動器系の疾患とその治療 ～総論～	講義（津久井）	
2回目	1) 外傷性（外因性）の運動器疾患	講義（津久井）	
3回目	2) 治療・処置 ①保存療法 ②理学療法・作業療法	講義（津久井）	
4回目	③手術療法 ～ギプス・松葉つえの実際～	講義（津久井）	
5回目	3) 脊椎の疾患	講義（津久井）	
6回目	4) 内因性の運動器疾患 ①骨・関節の炎症性疾患	講義（津久井）	
7回目	5) 先天性疾患	講義（津久井）	
8回目	6) 骨腫瘍および軟部腫瘍 7) 手の疾患	講義（津久井）	
9回目	2. 腎疾患とその治療 1) 腎不全と慢性腎臓病	講義（白鳥）	
10回目	2) 急性糸球体腎炎	講義（白鳥）	
11回目	3) 慢性糸球体腎炎	講義（白鳥）	
12回目	4) 尿細管間質性病変 5) 腎移植	講義（白鳥）	
13回目	3. 泌尿器疾患とその治療 1) 尿路・性器の感染症 2) 尿路の通過障害と機能障害 3) 尿路結石症	講義（木村）	
14回目	4) 尿路・性器の腫瘍	講義（木村）	
15回目	5) 発生・発育の異常 6) 男性不妊症、男性生殖器疾患	講義（木村）	
評価方法	終了試験 筆記 100%：津久井（50%） 良知（30%） 木村（20%）		
受講生に対するメッセージ	3領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点数をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器 医学書院 系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院		
参考書			